

緊急提言と震災復興計画の対応表

【凡例(対応) ○:計画に記載、△:計画に一部記載、×:計画に未記載、-:対象外など】

資料6

内容	対応	ページ番号	計画	該当文章	備考
1. 被災者の生活再建支援					
■ 被災された方々に寄り添った、一人ひとりの日常の回復	○	8、13、14	第3章－プロジェクト① 第4章－1(1)、(2)、(3)	プロジェクト① 一人ひとりの暮らしを支えるプロジェクト 1 被災者の生活再建に向けたトータルケアの推進 全文	-
家屋の損壊や交通網の寸断により、今なお生活基盤が崩壊し、被災者は不自由な生活を余儀なくされており、日に日に将来の生活再建への不安を強めている	-	-	-	-	-
①仮設住宅をはじめとした被災者の方々の住まいを確保し、一日も早い日常生活の回復に全力をあげる	○	8、14	第3章－プロジェクト① 第4章－1(2)、1(3)	プロジェクト① 一人ひとりの暮らしを支えるプロジェクト 1 被災者の生活再建に向けたトータルケアの推進 (2) 応急仮設住宅等における生活支援 避難所等から応急仮設住宅等に住まいを移した後も、被災者が孤立することなく、心身ともに健康に暮らせるよう、見守りや生活・健康相談等を実施します。 ①きめ細かな支援 ・応急仮設住宅等について、新たなコミュニティの中で生活する入居者の見守りや生活・健康相談、戸別訪問の実施など、被災者一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援を実施します。 (3) 恒久的な住まいの確保支援 被災住宅の公費解体・撤去や応急修理のほか、液状化などの宅地被害からの復旧支援など、居住環境の回復を支援するとともに、民間賃貸住宅やサービス付き高齢者向け住宅等の新たな住まいに関する情報提供や金融面の相談支援などを行います。 また、再度の地震に備えるため耐震化などに取り組み、将来の地震発生へ向けた備えを強化します。 ①被災した住まいの復旧 ・被災家屋の応急修理や、やむを得ず解体する家屋の解体・撤去に関する支援、液状化などの宅地被害やよう壁崩壊などからの復旧を支援することで、二次被害を防ぎ、安全で安心な住まいの確保に努めます。 ②新たな住まいの確保 ・被災者で自力での住まいの確保が困難な方を対象とした復興住宅を含む公営住宅の提供などによる、恒久的な住まいの移行支援に取り組みます。	-
②生活道路や農地の復旧など被災者の生活を再建する	○	17、22	第4章－3(1)、4(2)	3 防災・減災のまちづくり (1) 災害に強い都市基盤の形成 甚大な被害を受けた道路や橋梁・河川・公園・上下水道等のインフラ、学校や庁舎、社会教育施設等の公共施設、民間を含む保健・医療・福祉施設、公共交通機関等について、早期の復旧に取り組むとともに、建築物やインフラの耐震化や機能強化、道路網や公共交通網等のネットワークの構築などを行い災害に強い都市基盤づくりを進めます。 ①インフラの復旧・耐震化等 ・熊本地震により被災した、河川・道路・公園・上下水道・農業集落排水処理施設等については、日常生活を支える重要な施設であることから、効果的・効率的な早期復旧を図るとともに耐震化等の防災機能強化に取り組んでいきます。 4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (2) 農水産業関連施設の早期復旧と営農再開に向けた支援による農水産業の復興 本市の主力産業の1つである農水産業の関連施設や農地の早期復旧に取り組むとともに、経営再開に向けた農業用施設、機械等の再建・修繕に係る支援や土砂等の撤去による漁場や漁港の保全への支援などを行います。 ① 農地及び土地改良施設の早期復旧・復興 ・水田やみかん園地等の農地被害の早期復旧及び土地改良施設の早急な機能回復に取り組み、早期の営農再開を支援します。	-
2. 歴史・文化遺産の再建と観光復興、農産品を含む県産品の販売推進					
■ 阿蘇、熊本城、阿蘇神社を復興のシンボルに	△	10、23	第3章－プロジェクト③ 第4章－4(3)	プロジェクト③ くまもとのシンボル「熊本城」復旧プロジェクト 4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (3) 震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 ①観光文化施設等の早期復旧 ・熊本のシンボルであり、地域の宝である熊本城をはじめとした文化財や市民会館、記念館のほか、動植物園等の観光文化施設を早期に復旧します。	阿蘇、阿蘇神社は対象外のため。

内容	対応	ページ番号	計画	該当文章	備考
①熊本城天守閣は2019年のラグビーワールドカップ、女子ハンドボール世界選手権を目標に再建する	△	10、23	第3章－プロジェクト③ 第4章－4(3)	プロジェクト③ くまもとのシンボル「熊本城」復旧プロジェクト 4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (3)震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 ①観光文化施設等の早期復旧 ・熊本のシンボルであり、地域の宝である熊本城をはじめとした文化財や市民会館、記念館のほか、動植物園等の観光文化施設を早期に復旧します。	熊本城の復旧方法やスケジュール等については現在検討中であるため。
②熊本城の早期観光資源化に向けた取り組みを実施し、修復過程を観光客に提示する。このため、本丸御殿の早期再開・城内の被災状況や石垣・櫓等の復元過程の公開・二の丸広場の震災復興イベント等への積極的活用・熊本城マラソンの継続開催を行う	△	10、23	第3章－プロジェクト③ 第4章－4(3)	プロジェクト③ くまもとのシンボル「熊本城」復旧プロジェクト 4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (3)震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 ①観光文化施設等の早期復旧 ・熊本のシンボルであり、地域の宝である熊本城をはじめとした文化財や市民会館、記念館のほか、動植物園等の観光文化施設を早期に復旧します。 ・熊本城の復旧については、多くの方々に様々な形で修復への協力・参加を求めながら、その過程等を見せる仕組みづくりを行うなど、被災から立ち直る姿を新たな観光資源として活用していきます。 ②復興をアピールするシティセールス ・二の丸広場の活用による集客イベントの開催などを通じ、中心市街地や水前寺江津湖一帯を含めたにぎわいの創出と元気なくまもとを発信していきます。	熊本城マラソンの継続開催は現在検討中であるため。(8月4日の実行委員会で決定予定。)
③熊本城の石垣や櫓等の重要文化財の再建には被災前の姿が可能な限り再現されるよう周到かつ慎重に取り組むとともに、西南戦争による焼失前の熊本城完全復元を宣言、長期プロジェクトに着手	△	10	第3章－プロジェクト③	プロジェクト③ くまもとのシンボル「熊本城」復旧プロジェクト	熊本城の復旧方法やスケジュール等については現在検討中であるため。
④倒壊した阿蘇神社社殿・楼門等の早期復元	-	-	対象外	-	-
⑤国道57号線、阿蘇登山道路をはじめとした阿蘇へのアクセス・観光道路、鉄路の一日も早い復旧と機能強化	-	-	対象外	-	-
⑥阿蘇の草原維持への支援と、ナショナルパークジャパンの指定に向けた取り組み、世界文化遺産登録に向けた取り組みの強化	-	-	対象外	-	-
⑦熊本・阿蘇と九州各地を結ぶ周遊ルートの再生をはじめとした九州各県との広域連携の推進・強化	○	23、26	第4章－4(3)、5(2)	4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (3)震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 ②復興をアピールするシティセールス ・熊本城のほか、宮本武蔵や夏目漱石等の人物や西南戦争等の歴史、植木温泉や水、農産物など本市固有の素材を新たな観光商品として開発するとともに、他都市と連携するなど効果的な手法による国内外への広報・宣伝を強化します。 5 都市圏全体の復興をけん引する取組の推進 (2)都市圏全体の復興実現 ②観光の振興 ・都市圏内の観光資源を活用し、国内観光誘致のための観光企画や、都市圏内まつり等により交流をPRするとともに、海外観光客誘致のためのPR及び観光施策の共同実施等を通じて、震災からの復興をアピールして国内外からの観光客の誘致に取り組みます。	-

内容	対応	ページ番号	計画	該当文章	備考
<p>■ 国内外での積極的な観光・物産PRによる風評被害の払拭と、農産品の販売推進</p>	○	22、23、25、26	第4章－4(2)、4(3)、5(2)	<p>4 「くまもの元気・活力」を創り出す (2) 農水産業関連施設の早期復旧と営農再開に向けた支援による農水産業の復興 (前段省略) さらに、国内外をターゲットとした販売促進活動を通じて、震災に負けない熊本の食を積極的にPRし、生産者や事業者の販路拡大を支援します。 ④震災に負けない熊本の食のPR ・観光部門とも連携し、物産展や商談会、テレビやインターネット等の多様な媒体を通じて、統一的に熊本の高品質な農水産物の魅力を発信し、「震災に負けない元気なくまもの食と観光」をPRします。 ・熊本の食の魅力発信により、九州食の展示商談会の開催、農水産物のブランド化推進、海外食品見本市への出展支援等を効果的に展開し、国内外の販路拡大につなげます。 (3) 震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 ②復興をアピールするシティセールス ・首都圏や新幹線沿線都市などをはじめ、国内外に対して、風評被害の払拭に向けた正確な情報発信とともに、新たなシティブランドによるインパクトのあるプロモーション活動を展開します。</p> <p>5 都市圏全体の復興をけん引する取組の推進 (2) 都市圏全体の復興実現 ①「食の魅力発信」による農水産業の復興支援 ・「食の魅力発信」については、熊本連携中枢都市圏全体で取り組み、「震災に負けない元気なくまもの食と観光」のPRを通して、都市圏全体の農水産業の復興支援につなげます。 ②観光の振興 ・都市圏内の観光資源を活用し、国内観光誘致のための観光企画や、都市圏内まつり等により交流をPRするとともに、海外観光客誘致のためのPR及び観光施策の共同実施等を通じて、震災からの復興をアピールして国内外からの観光客の誘致に取り組みます。</p>	
<p>①東京の歩行者天国で観光・物産フェアの開催</p>	○	22、23、26	第4章－4(2)、4(3)、5(2)	<p>4 「くまもの元気・活力」を創り出す (2) 農水産業関連施設の早期復旧と営農再開に向けた支援による農水産業の復興 (前段省略) ④震災に負けない熊本の食のPR ・観光部門とも連携し、物産展や商談会、テレビやインターネット等の多様な媒体を通じて、統一的に熊本の高品質な農水産物の魅力を発信し、「震災に負けない元気なくまもの食と観光」をPRします。 ・熊本の食の魅力発信により、九州食の展示商談会の開催、農水産物のブランド化推進、海外食品見本市への出展支援等を効果的に展開し、国内外の販路拡大につなげます。 (3) 震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 ②復興をアピールするシティセールス ・首都圏や新幹線沿線都市などをはじめ、国内外に対して、風評被害の払拭に向けた正確な情報発信とともに、新たなシティブランドによるインパクトのあるプロモーション活動を展開します。</p> <p>5 都市圏全体の復興をけん引する取組の推進 (2) 都市圏全体の復興実現 ①「食の魅力発信」による農水産業の復興支援 ・「食の魅力発信」については、熊本連携中枢都市圏全体で取り組み、「震災に負けない元気なくまもの食と観光」のPRを通して、都市圏全体の農水産業の復興支援につなげます。 ②観光の振興 ・都市圏内の観光資源を活用し、国内観光誘致のための観光企画や、都市圏内まつり等により交流をPRするとともに、海外観光客誘致のためのPR及び観光施策の共同実施等を通じて、震災からの復興をアピールして国内外からの観光客の誘致に取り組みます。</p>	
<p>・全国からの支援への感謝と、復興への決意・意気込みを発信する。熊本の観光や特産物、農水産物等を展示即売する</p>	○	22、23、26	第4章－4(2)、4(3)、5(2)	<p>4 「くまもの元気・活力」を創り出す (2) 農水産業関連施設の早期復旧と営農再開に向けた支援による農水産業の復興 ④震災に負けない熊本の食のPR ・観光部門とも連携し、物産展や商談会、テレビやインターネット等の多様な媒体を通じて、統一的に熊本の高品質な農水産物の魅力を発信し、「震災に負けない元気なくまもの食と観光」をPRします。 ・熊本の食の魅力発信により、九州食の展示商談会の開催、農水産物のブランド化推進、海外食品見本市への出展支援等を効果的に展開し、国内外の販路拡大につなげます。 (3) 震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 ②復興をアピールするシティセールス ・首都圏や新幹線沿線都市などをはじめ、国内外に対して、風評被害の払拭に向けた正確な情報発信とともに、新たなシティブランドによるインパクトのあるプロモーション活動を展開します。</p> <p>5 都市圏全体の復興をけん引する取組の推進 (2) 都市圏全体の復興実現 ①「食の魅力発信」による農水産業の復興支援 ・「食の魅力発信」については、熊本連携中枢都市圏全体で取り組み、「震災に負けない元気なくまもの食と観光」のPRを通して、都市圏全体の農水産業の復興支援につなげます。</p>	

内容	対応	ページ番号	計画	該当文章	備考
②インバウンド回復に向けた海外での観光・物産フェアの開催	○	22、23	第4章－4(2)、4(3)	<p>4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (2) 農水産業関連施設の早期復旧と営農再開に向けた支援による農水産業の復興 (前段省略) さらに、国内外をターゲットとした販売促進活動を通じて、震災に負けない熊本の食を積極的にPRし、生産者や事業者の販路拡大を支援します。</p> <p>④震災に負けない熊本の食のPR ・観光部門とも連携し、物産展や商談会、テレビやインターネット等の多様な媒体を通じて、統一的に熊本の高品質な農水産物の魅力を発信し、「震災に負けない元気なくまもとの食と観光」をPRします。 ・熊本の食の魅力発信により、九州食の展示商談会の開催、農水産物のブランド化推進、海外食品見本市への出展支援等を効果的に展開し、国内外の販路拡大につなげます。</p> <p>(3) 震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 ②復興をアピールするシティセールス ・首都圏や新幹線沿線都市などをはじめ、国内外に対して、風評被害の払拭に向けた正確な情報発信とともに、新たなシティブランドによるインパクトのあるプロモーション活動を展開します。</p>	
・国際線就航先である台湾、香港、シンガポールで開催する	○	22、23	第4章－4(2)、4(3)	<p>4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (2) 農水産業関連施設の早期復旧と営農再開に向けた支援による農水産業の復興 ④震災に負けない熊本の食のPR ・観光部門とも連携し、物産展や商談会、テレビやインターネット等の多様な媒体を通じて、統一的に熊本の高品質な農水産物の魅力を発信し、「震災に負けない元気なくまもとの食と観光」をPRします。 ・熊本の食の魅力発信により、九州食の展示商談会の開催、農水産物のブランド化推進、海外食品見本市への出展支援等を効果的に展開し、国内外の販路拡大につなげます。</p> <p>(3) 震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 ②復興をアピールするシティセールス ・首都圏や新幹線沿線都市などをはじめ、国内外に対して、風評被害の払拭に向けた正確な情報発信とともに、新たなシティブランドによるインパクトのあるプロモーション活動を展開します。 ・熊本城のほか、宮本武蔵や夏目漱石等の人物や西南戦争等の歴史、植木温泉や水、農産物など本市固有の素材を新たな観光商品として開発するとともに、他都市と連携するなど効果的な手法による国内外への広報・宣伝を強化します。</p>	
③風評被害の払拭と観光産業を新たなステージに押し上げ	○	23、26	第4章－4(3)、5(2)	<p>4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (3) 震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 ②復興をアピールするシティセールス ・首都圏や新幹線沿線都市などをはじめ、国内外に対して、風評被害の払拭に向けた正確な情報発信とともに、新たなシティブランドによるインパクトのあるプロモーション活動を展開します。</p> <p>5 都市圏全体の復興をけん引する取組の推進 (2) 都市圏全体の復興実現 ②観光の振興 ・都市圏内の観光資源を活用し、国内観光誘致のための観光企画や、都市圏内まつり等により交流をPRするとともに、海外観光客誘致のためのPR及び観光施策の共同実施等を通じて、震災からの復興をアピールして国内外からの観光客の誘致に取り組みます。</p>	

内容	対応	ページ番号	計画	該当文章	備考
・震災からの復興を契機に、九州の観光産業を新たなステージに押し上げるため「インバウンド先進地・熊本」を目指す。2019年のラグビーワールドカップ、女子ハンドボール世界選手権、2020年のオリンピックに向けてアジアさらには欧州等からの誘客や個人旅行に向けた多彩なメニューを開発する	○	23、24	第4章－4(3)	<p>4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (3)震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 交流人口の増加に向けて、観光文化施設やインフラ、産業等の復旧・復興を国内外に迅速かつ的確に伝えていくとともに、復興をアピールするイベントや企画ツアーを実施することにより観光戦略や積極的なシティセールスを展開し、くまもとの文化の力、スポーツの力を存分に活用した催や、大会の実施により交流人口を増加させ、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>②復興をアピールするシティセールス ・首都圏や新幹線沿線都市などをはじめ、国内外に対して、風評被害の払拭に向けた正確な情報発信とともに、新たなシティブランドによるインパクトのあるプロモーション活動を展開します。</p> <p>③くまもとの文化・スポーツの力の活用 ・平成31年の女子ハンドボール世界選手権及びラグビーワールドカップの本市開催の準備や、平成32年の東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致を積極的に進めます。 ・芸術・文化に触れる機会を増やし、体験型の催しを実施することなどにより都市の魅力を向上させ、国内外からの誘客を図ります。</p>	-
④クルーズ船の就航数とコンテナ数量の増大	-	-	対象外	-	-
・八代港の環境整備に取り組むとともにコンテナによるアジアに向けた農林水産物等の輸出の増大を目指す	-	-	対象外	-	-
3. 街の賑わい・活気の創出					
①MICE施設を中心とした桜町花畑再開発事業、JR熊本駅周辺再開発事業を防災・減災対策面から見直し計画通りの推進	○	11、17、23、24	第3章－プロジェクト④ 第4章－3(1)、4(3)	<p>プロジェクト④ 地域経済の再生をけん引するにぎわい創出プロジェクト</p> <p>3 防災・減災のまちづくり (1)災害に強い都市基盤の形成 甚大な被害を受けた道路や橋梁・河川・公園・上下水道等のインフラ、学校や庁舎、社会教育施設等の公共施設、民間を含む保健・医療・福祉施設、公共交通機関等について、早期の復旧に取り組むとともに、建築物やインフラの耐震化や機能強化、道路網や公共交通網等のネットワークの構築などを行い災害に強い都市基盤づくりを進めます。 また、桜町地区市街地再開発事業、シンボルプロムナード及び(仮称)花畑広場の整備並びに熊本駅周辺地区の整備等においては、熊本地震を踏まえた防災面での機能強化を図ります。 さらに、災害時の緊急情報の迅速かつ効果的な提供と市民・地域・行政がスムーズに連携を図れるよう、情報収集伝達体制の整備・向上に取り組みます。</p> <p>4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (3)震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 交流人口の増加に向けて、観光文化施設やインフラ、産業等の復旧・復興を国内外に迅速かつ的確に伝えていくとともに、復興をアピールするイベントや企画ツアーを実施することにより観光戦略や積極的なシティセールスを展開し、くまもとの文化の力、スポーツの力を存分に活用した催や、大会の実施により交流人口を増加させ、地域経済の活性化を図ります。 また、国内外から多くの参加者が訪れるMICEの受入れに向け、桜町・花畑地区において、(仮称)熊本城ホール整備を含む桜町地区市街地再開発事業並びにシンボルプロムナード整備等に取り組み、中心市街地のにぎわいの創出を図ることで活力ある熊本を発信します。</p> <p>④新たなまちづくりによるにぎわいの創出 ・(仮称)熊本城ホールの整備を進め、国際会議、大規模な学会やコンサートなどMICEの誘致に取り組みます。 ・桜町市街地再開発事業を推進し、シンボルプロムナード整備とあわせて、熊本城の復旧と一体的に中心市街地の活性化を図ります。 ・熊本駅の周辺整備事業により、公共交通の結節機能等を強化するとともに商業等の集積を進め、中心市街地の交流人口の増加を図ります。</p>	-
②熊本市中心商店街の賑わい創出を図るとともに、甚大な被害を受けた子飼商店街、健軍商店街、益城町・南阿蘇村など県下各地の商店街等への支援を加速化する	△	21、24	第4章－4(1)、4(3)	<p>4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (1)地域産業への多様な支援と復興需要による地域経済の再生と活性化 ①中小企業や商店街の事業活動再開支援 ・製造業の施設、設備や商店街の施設復旧を支援するとともに、商店街の機能回復やにぎわい創出のため、それぞれの商店街の特性を活かした復興への取組を支援します。</p> <p>(3)震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 ④新たなまちづくりによるにぎわいの創出 全文</p>	益城町・南阿蘇村などの県下各地は対象外のため。

内容	対応	ページ番号	計画	該当文章	備考
③街の賑わいを取り戻し、継続させるような催しものの開催	○	23、26	第4章－4(3)、5(2)	<p>4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (3)震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 交流人口の増加に向けて、観光文化施設やインフラ、産業等の復旧・復興を国内外に迅速かつ的確に伝えていくとともに、復興をアピールするイベントや企画ツアーを実施することにより観光戦略や積極的なシティセールスを展開し、くまもとの文化の力、スポーツの力を存分に活用した催や、大会の実施により交流人口を増加させ、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>②復興をアピールするシティセールス ・二の丸広場の活用による集客イベントの開催などを通じ、中心市街地や水前寺江津湖一帯を含めたにぎわいの創出と元気なくまもとを発信していきます。</p> <p>5 都市圏全体の復興をけん引する取組の推進 (2)都市圏全体の復興実現 ④中心拠点施設等の整備 ・中心市街地のにぎわいの創出と都市間交流の促進を図るため、桜町地区市街地再開発事業や熊本駅周辺整備事業等を推進し、人・モノ・情報の交流を進めていきます。</p>	-

4. 都市機能の強化と公共施設・インフラ等の総合的整備

①被災した県内道路網の早期復旧	○	17	第4章－3(1)	<p>3 防災・減災のまちづくり (1)災害に強い都市基盤の形成 甚大な被害を受けた道路や橋梁・河川・公園・上下水道等のインフラ、学校や庁舎、社会教育施設等の公共施設、民間を含む保健・医療・福祉施設、公共交通機関等について、早期の復旧に取り組むとともに、建築物やインフラの耐震化や機能強化、道路網や公共交通網等のネットワークの構築などを行い災害に強い都市基盤づくりを進めます。 ①インフラの復旧・耐震化等 ・熊本地震により被災した、河川・道路・公園・上下水道・農業集落排水処理施設等については、日常生活を支える重要な施設であることから、効果的・効率的な早期復旧を図るとともに耐震化等の防災機能強化に取り組んでいきます。</p>	-
②文化施設の早期再開と同時に熊本市民病院や文化施設も含めた公共施設等再配置の検討・実施	○	9、10、17、18、23、26	<p>第3章－プロジェクト②、③ 第4章－3(1)、4(3) 第4章－5(2)</p>	<p>プロジェクト② 子どもの命を守る「熊本市民病院」再建プロジェクト プロジェクト③ くまもとのシンボル「熊本城」復旧プロジェクト</p> <p>3 防災・減災のまちづくり (1)災害に強い都市基盤の形成 ②被災施設の復旧・耐震化等 ・熊本地震により被災した小中学校、市民会館、動植物園をはじめとする学校教育・文化・スポーツ・福祉等の施設について、倒壊等による危険性を排除するとともに、一日も早い機能回復が求められていることから、施設等の総合的なあり方について検討を行う中で、早期復旧を行い施設利用者等への適切なサービスを提供していきます。</p> <p>4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (3)震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開 ①観光文化施設等の早期復旧 ・熊本のシンボルであり、地域の宝である熊本城をはじめとした文化財や市民会館、記念館のほか、動植物園等の観光文化施設を早期に復旧します。</p> <p>5 都市圏全体の復興をけん引する取組の推進 (2)都市圏全体の復興実現 都市圏域全体の主力産業である農水産業をはじめとした地域産業の活性化に向けた取組を行うことで、圏域全体の経済成長をけん引する役割を担います。 また、熊本市民病院の再建、中心市街地の再開発などにより高次の都市機能の集積・強化等を図り、圏域市町村が有する生活関連機能サービスを相互補完的に圏域住民に提供することで、都市圏全体の復興を実現します。 ④中心拠点施設等の整備 ・熊本市民病院の再建を行い、総合周産期母子医療の拠点として高度医療を提供すると共に、関係医療機関の連携体制を整備します。</p>	-
③熊本市中心部における将来を見据え、災害に強い街のグランドデザインの策定	○	17	第4章－3(1)	<p>3 防災・減災のまちづくり (1)災害に強い都市基盤の形成 甚大な被害を受けた道路や橋梁・河川・公園・上下水道等のインフラ、学校や庁舎、社会教育施設等の公共施設、民間を含む保健・医療・福祉施設、公共交通機関等について、早期の復旧に取り組むとともに、建築物やインフラの耐震化や機能強化、道路網や公共交通網等のネットワークの構築などを行い災害に強い都市基盤づくりを進めます。 また、桜町地区市街地再開発事業、シンボルプロムナード及び(仮称)花畑広場の整備並びに熊本駅周辺地区の整備等においては、熊本地震を踏まえた防災面での機能強化を図ります。 さらに、災害時の緊急情報の迅速かつ効果的な提供と市民・地域・行政がスムーズに連携を図れるよう、情報収集伝達体制の整備・向上に取り組めます。</p>	-

内容	対応	ページ番号	計画	該当文章	備考
④多大な被害を受けた阿蘇くまもと空港の機能強化	-	-	対象外	-	-
・南海トラフ地震等を念頭に置いた九州の広域防災拠点としての機能の強化	-	-	対象外	-	-
・国内線・国際線を一体化したターミナルビルを建設、九州中央に位置する国際空港として整備する	-	-	対象外	-	-
⑤阿蘇くまもと空港を含む熊本都市圏東部地域のまちづくり	○	25	第4章-5(1)	5 都市圏全体の復興をけん引する取組の推進 (1)連携強化と近隣自治体への支援 都市圏全体で広域的に復興を推進するため、特に被害の大きかった本市東部地区の近隣をはじめとする自治体や熊本県と復興へ向けたビジョンの共有化を図ります。 あわせて、本市の被災者支援に加え、近隣自治体の被災者の受け入れや保健・医療・福祉サービス等の提供支援を行います。 また、近隣自治体の復旧・復興に役に立つ情報の積極的な提供や市域を越えた復旧・復興事業の取組などの支援を行います。 ①本市東部地区と近隣自治体との復興ビジョンの共有 ・益城町や西原村など、特に被害の大きかった本市東部地区の近隣をはじめとする自治体や熊本県とともに、ビジョンの共有化を図り、広域連携を見据えた方針等を検討していきます。	-
・被害の大きかった益城町、西原村及び熊本市東部地域の新たな街づくりに着手。熊本市ほか17市町村で構成される連携中枢都市圏構想との連動など広域的な視点に立ち取り組む。	○	25	第4章-5(1)	5 都市圏全体の復興をけん引する取組の推進 (1)連携強化と近隣自治体への支援 都市圏全体で広域的に復興を推進するため、特に被害の大きかった本市東部地区の近隣をはじめとする自治体や熊本県と復興へ向けたビジョンの共有化を図ります。 あわせて、本市の被災者支援に加え、近隣自治体の被災者の受け入れや保健・医療・福祉サービス等の提供支援を行います。 また、近隣自治体の復旧・復興に役に立つ情報の積極的な提供や市域を越えた復旧・復興事業の取組などの支援を行います。 ①本市東部地区と近隣自治体との復興ビジョンの共有 ・益城町や西原村など、特に被害の大きかった本市東部地区の近隣をはじめとする自治体や熊本県とともに、ビジョンの共有化を図り、広域連携を見据えた方針等を検討していきます。	-

5. スポーツ施設・都市公園の復旧と総合的な整備検討

■ うまかな・よかなスタジアム をはじめとしたスポーツ施設の 早期復旧 と、政令指定都市に相応しいスポーツ施設・都市公園の総合的なあり方の検討	△	17, 18	第4章-3(1)	3 防災・減災のまちづくり (1)災害に強い都市基盤の形成 甚大な被害を受けた道路や橋梁・河川・公園・上下水道等のインフラ、学校や庁舎、社会教育施設等の公共施設、民間を含む保健・医療・福祉施設、公共交通機関等について、早期の復旧に取り組むとともに、建築物やインフラの耐震化や機能強化、道路網や公共交通網等のネットワークの構築などを行い災害に強い都市基盤づくりを進めます。(後略) ①インフラの復旧・耐震化等 ・熊本地震により被災した、河川・道路・公園・上下水道・農業集落排水処理施設等については、日常生活を支える重要な施設であることから、効果的・効率的な早期復旧を図るとともに耐震化等の防災機能強化に取り組んでいきます。 ・公園や広域交通拠点 は災害時の緊急(一時)避難所及び災害対応拠点となることから、トイレなどの設備の整備、改良や食料等の物資備蓄などの防災・減災機能を強化します。 ②被災施設の復旧・耐震化等 ・熊本地震により被災した小中学校、市民会館、動植物園をはじめとする学校教育・文化・スポーツ・福祉等の施設について、倒壊等による危険性を排除するとともに、一日も早い機能回復が求められていることから、施設等の総合的なあり方について検討を行う中で、早期復旧を行い施設利用者等への適切なサービスを提供していきます。 ・将来的な災害時における避難所としての活用も視野に入れ、効果的・効率的な耐震化等を行っていきます。	うまかな・よかなスタジアムの早期復旧は対象外のため。
①スポーツは県民・市民に元気と勇気を取り戻してもらい復興への1つの手段である。このため、 うまかな・よかなスタジアム をできるだけ早期に復旧する。 また、2019年ラグビーワールドカップに向け、うまかな・よかなスタジアムへの道路等の交通アクセスの改善を行う	△	19	第4章-3(2)	3 防災・減災のまちづくり (2)市民・地域・行政の災害対応力の強化 ③行政の災害対応力の強化 ・消防機能の充実、支援物資等の受入体制強化・集配拠点及び周辺交通アクセスの改善、近隣自治体や九州各県の自治体との連携強化等を進めていきます。	うまかな・よかなスタジアムの早期復旧は対象外のため。

内容	対応	ページ番号	計画	該当文章	備考
②政令指定都市に相応しいスポーツ施設・都市公園のあり方全般の検討に着手	○	17, 18	第4章-3(1)	<p>3 防災・減災のまちづくり (1)災害に強い都市基盤の形成 甚大な被害を受けた道路や橋梁・河川・公園・上下水道等のインフラ、学校や庁舎、社会教育施設等の公共施設、民間を含む保健・医療・福祉施設、公共交通機関等について、早期の復旧に取り組むとともに、建築物やインフラの耐震化や機能強化、道路網や公共交通網等のネットワークの構築などを行い災害に強い都市基盤づくりを進めます。(後略)</p> <p>①インフラの復旧・耐震化等 ・熊本地震により被災した、河川・道路・公園・上下水道・農業集落排水処理施設等については、日常生活を支える重要な施設であることから、効果的・効率的な早期復旧を図るとともに耐震化等の防災機能強化に取り組んでいきます。 ・公園や広域交通拠点 は災害時の緊急(一時)避難所及び災害対応拠点となることから、トイレなどの設備の整備、改良や食料等の物資備蓄などの防災・減災機能を強化します。</p> <p>②被災施設の復旧・耐震化等 ・熊本地震により被災した小中学校、市民会館、動植物園をはじめとする学校教育・文化・スポーツ・福祉等の施設について、倒壊等による危険性を排除するとともに、一日も早い機能回復が求められていることから、施設等の総合的なあり方について検討を行う中で、早期復旧を行い施設利用者等への適切なサービスを提供していきます。 ・将来的な災害時における避難所としての活用も視野に入れ、効果的・効率的な耐震化等を行っていきます。</p>	
・震災で大きな被害を受けた水前寺野球場・競技場及び熊本競輪場や水前寺江津湖公園等について、スポーツ施設・都市公園の機能や配置のあり方など総合的な見地で検討に着手	△	-	-	<p>スポーツ施設・都市公園の機能や配置のあり方など検討については、3防災・減災のまちづくり (1)災害に強い都市基盤の形成 ②被災施設の復旧・耐震化等 において 「…施設等の総合的なあり方について検討を行う…」旨を記載をしています。</p> <p>なお、水前寺野球場・競技場及び熊本競輪場を含む一帯については、中長期的な検討を行っていく必要があるため、復興計画に具体的な地名を指した記載はしておりません。</p>	

6. 持続的・発展的な産業基盤の整備・検討

①既存の地場製造業、進出企業に対する操業の再開を支援し、 <u>世界のマザー工場拠点化及び強靱なサプライチェーン網の構築</u>	△	21, 22, 26	第4章-4(1)、5(2)	<p>4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (1)地域産業への多様な支援と復興需要による地域経済の再生と活性化 (前段省略) さらに、企業誘致活動による産業集積を促進させるとともに、復興に向けた各種取組に対して地元企業を積極的に活用することで、地域経済の活性化を図ります。 ①中小企業や商店街の事業活動再開支援 ・製造業の施設、設備や商店街の施設復旧を支援するとともに、商店街の機能回復やにぎわい創出のため、それぞれの商店街の特性を活かした復興への取組を支援します。 ④企業立地の推進 ・既立地企業に対して、事業継続に向けた支援を行います。</p> <p>5 都市圏全体の復興をけん引する取組の推進 (2)都市圏全体の復興実現 ③リーディング産業の育成 ・熊本大学をはじめとした多くの高等教育機関や、起業や新製品開発のための支援機関などと連携し、都市圏の産業の特性を踏まえ、熊本発の新技术や高付加価値商品の創出を支援し、都市圏企業の経営基盤の安定化や、新事業への進出を促進するなど、リーディング産業の育成を図ります。</p>	世界のマザー工場拠点化及び強靱なサプライチェーン網の構築については、市単独での実施は困難と考えるため。
②自然共生型産業(アグリ・バイオ・ヘルスケア分野など)の展開や新たな産業拠点の形成・集積	○	21	第4章-4(1)	<p>4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (1)地域産業への多様な支援と復興需要による地域経済の再生と活性化 ②販路開拓や技術開発等の支援 ・高度な技術を持つ大学等の研究者を活用するなど、産学連携を強め、企業の技術力向上を図るとともに、本市の特色である「食」関連産業、医療・福祉関連産業、クリエイティブ産業といった復興のけん引役となる分野の産業振興を図ります。</p>	

内容	対応	ページ番号	計画	該当文章	備考
③創造的復興を担う高度産業人材の外部からの招へい(大学や高度な技能を持つ外国人材の活用等)	○	21、26	第4章－4(1)、5(2)	<p>4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (1)地域産業への多様な支援と復興需要による地域経済の再生と活性化 ②販路開拓や技術開発等の支援 ・高度な技術を持つ大学等の研究者を活用するなど、産学連携を強め、企業の技術力向上を図るとともに、本市の特色である「食」関連産業、医療・福祉関連産業、クリエイティブ産業といった復興のけん引役となる分野の産業振興を図ります。</p> <p>5 都市圏全体の復興をけん引する取組の推進 (2)都市圏全体の復興実現 ③リーディング産業の育成 ・熊本大学をはじめとした多くの高等教育機関や、起業や新製品開発のための支援機関などと連携し、都市圏の産業の特性を踏まえ、熊本発の新技术や高付加価値商品の創出を支援し、都市圏企業の経営基盤の安定化や、新事業への進出を促進するなど、リーディング産業の育成を図ります。</p>	-
④新たな企業誘致に向けた基盤整備(耐震化・物流機能の強化等)	○	22	第4章－4(1)	<p>4 「くまもとの元気・活力」を創り出す (1)地域産業への多様な支援と復興需要による地域経済の再生と活性化 ④企業立地の推進 ・本社機能移転等、将来的に撤退の可能性が低い企業を優遇するなど、企業立地補助制度の再構築を検討することで本市への企業立地を促進します。</p>	-